

Doc.No : NR040520-2

2004年5月20日

プリント基板最終外観検査装置を発売 ～カラー画像処理技術を活用し、検査前準備作業にかかる時間を1/6に短縮～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の電子機器カンパニー(社長：葛川 幸隆)は、プリント基板用最終外観検査装置「FP-8000」を2004年7月から販売します。

今回発売する「FP-8000」は、電子部品を実装する前のプリント基板の両面を光学的に自動検査する装置で、長年培った当社のカラー画像処理技術によって、金メッキ、銅メッキ、ハンダメッキ、ソルダレジスト、シルク部など、各部の欠陥検査を行います。

FP-8000は、当社製RGB入力ヘッドを採用し、カラーキャナーの開発で培われたカラー画像処理技術を駆使することによって、グリーンを含むさまざまな色のソルダレジストやメッキ混在基板など、モノクロ画像検査では困難だった検査も可能にしました。ソルダレジストのズレなどの変動要因にも自動的に追従するため、不感帯(非検査領域)の極めて少ない検査を実現しています。

データ量の多いカラー画像処理でありながら、高性能エンジンの搭載による高速処理を実現し、並列搬送機構を採用した効率的な基板搬送によって、検査領域250×330mmの基板をタクト5.5秒/枚(ノーマルモード)で処理できるようになりました。さらに、プリペア作業(検査前準備)にかかる時間を当社従来製品の1/6^{*1}に短縮したため、オペレーターの負担を大幅に軽減できます。

また、選択付属品の目視確認ステーションと接続することによって欠陥部位の画像を確認できるため、効率的な欠陥確認作業も可能にしました。

当社は、本製品により基板最終外観検査装置のグローバルスタンダードを目指します。

※1 検査条件によって異なります。

*この装置は6月2日から4日まで、東京・有明「東京ビッグサイト」で開催される「JPCA Show 2004」でご紹介します。

<販売開始予定>

2004年7月

<国内希望販売価格(消費税別)>

4,800万円

<年間販売台数(初年度)>

20台



FP-8000

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目